

平成23年度版

食の安全安心・食育推進計画の 取り組み状況

第4章 食育の推進

平成24年5月31日

<判定>

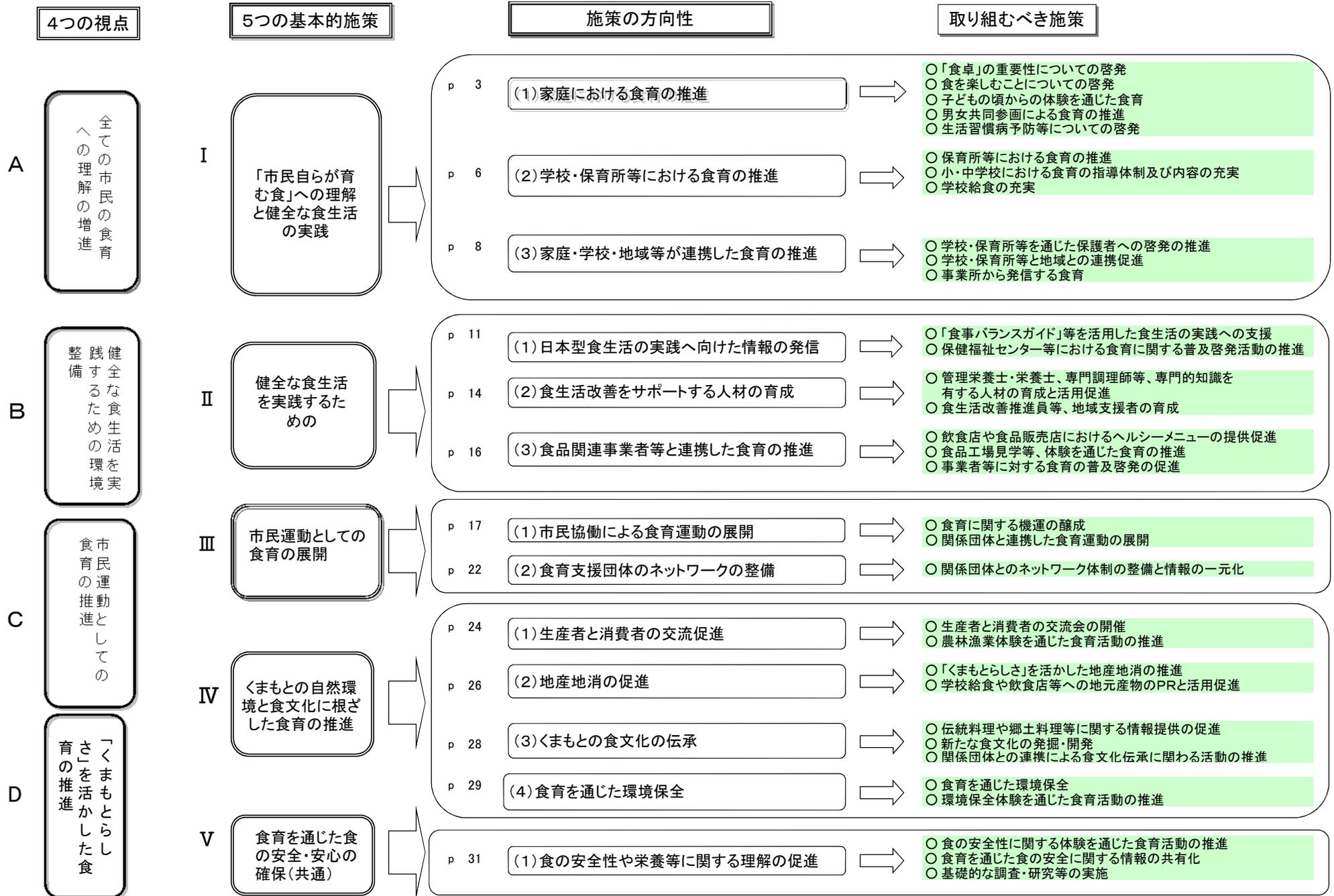
◎ 達成

○ 継続展開中で目標未達成

△ まだ取り組みをしていない

× 取り組み中止

第4章 「食育の推進」に関する施策の体系



第4章 食育の推進《成果指標》

項 目	H19年	(H22年)	24年目標	H19→22	
① 食事のとき「楽しい」と感じる市民の割合	73.7%	79.2%	80%		
② 1週間あたりの朝食の欠食率	小学5年生	1.2%	※ 0.7%	0%	
	中学2年生	2.9%	※ 1.7%	0%	
	20歳代男性	30.5%	31.9%	15%	
	30歳代男性	21.9%	21.7%	15%	
③ 食育に関する活動や行動をしている市民の割合	男性	21.2%	21.8%	25%	
	女性	35.0%	33.0%	45%	
④ 「内臓脂肪症候群」を認知している市民の割合	20歳以上	76.6%	81.3%	85%	
⑤ 肥満度20%以上の児童の割合	小学生	7.5%	7.3%	7.0%	
	中学生	9.1%	7.7%	7.5%	
⑥ 保育所における食育に関する計画の策定割合	公立	40%	※ 100%	100%	
	私立	16.7%	70%	100%	
⑦ 幼稚園における食育に関する計画の策定割合	公立	0%	※ 100%	100%	
	私立		33%	80%	
⑧ 小・中学校における食育に関する計画の策定割合	小学校	100%	100%	100%	
	中学校	100%	100%	100%	
⑨ 親子料理教室等健康づくり活動へ参加したことがある市民の割合		22.6%	20.4%	35%	
⑩ 食事バランスガイドを参考にした食生活を実践する市民の割合	20歳以上	27.1%	27.9%	40%	
⑪ 日本型食生活を実践している市民の割合		81.5%	78.8%	85%	
⑫ 食育に関する活動や行動をしている市民の割合		29.3%	28.0%	40%	
⑬ 食育推進に関するボランティア数		560人	1,101人	1,250人	
⑭ 飲食店で栄養成分表示を見たことがある市民の割合		56.3%	56.9%	65%	
⑮ 食育に関心がある市民の割合	20歳以上	76.0%	75.6%	90%	
⑯ 食生活面で「くまもとらしさ」を感じたことのある市民の割合		58.0%	51.7%	65%	
⑰ 生産者と消費者が近く交流しやすいと感じている市民の割合		24.5%	29.6%	30%	
⑱ 学校農園や休耕田等を活用した栽培活動を実施している小・中学校の割合	小学校	98%	100%	100%	
	中学校	54.1%	97.4%	100%	
⑲ 「地産地消」を認知している市民の割合		57.9%	68.2%	65%	
⑳ 学校給食における地元産物を使用する割合		28品目	39品目	43品目	
㉑ 家庭での食事に郷土料理等を取り入れている市民の割合		63.9%	54.9%	70%	
㉒ 市民1人1日当たりのごみ排出量		1,215g	※ 1,037g	(22年) 1,088g	
㉓ ごみを少なくするため「買いすぎ」「作りすぎ」をしないよう心がけをしている市民の割合		67.0%	69.1%	75%	
㉔ バイオマスを知っている市民の割合		23.0%	26.2%	30%	
㉕ 熊本市の良質な水がおいしさの基になっていると思う市民の割合		65.7%	80.8%	85%	

I 「市民自らが育む食」への理解と健全な食生活の実践

1) 家庭における食育の推進

【成果指標】

	H19(直近年)	H20	H22	H24(目標)
(1) 食事のとき「楽しい」と感じる市民の割合	73.7%	80.0%	79.2%	80%
(2) 1週間あたりの朝食の欠食率	小学5年生 1.2%(H18) * 中学2年生 2.9%(H18) * 20歳代男性 30.5% 30歳代男性 21.9%	0.7% 2.0% 27.7% 23.0%	0.7% 1.7% 31.9% 21.7%	0% 0% 15% 15%
(3) 食育に関する活動や行動をしている市民の割合(男女)	男性 21.2% 女性 35.0%	24.4% 35.3%	21.8% 33.0%	25% 45%
(4) メタボリックシンドローム「内臓脂肪症候群」を認知している市民の割合	20歳以上 76.6%	81.0%	81.3%	85%
(5) 肥満度20%以上の児童の割合	小学生 7.5% 中学生 9.1%	7.9% 8.2%	7.3% 7.7%	7.0% 7.5%

【取り組むべき施策】

- ① 「食卓」の重要性についての啓発
- ② 食を楽しむことについての啓発
- ③ 子どもの頃からの体験を通じた食育
- ④ 男女協同参画による食育の推進
- ⑤ 生活習慣病予防等についての啓発

* H19実績は、小学5年生 0.8%、中学2年生2.0%

【具体的な取り組み(行政)】

取り組み名称	関係部署名	業務内容	評価		評価指標等					進捗状況等			平成24年度以降の 関係部署名	
			評価 指数	単位	H19度 実績	H20度 実績	H21度 実績	H22 実績	H24度 目標	H23 実績	判定 ◎○ △×	H23度業務内容等		課題や H24の取り組み
ひごっこすくすくカレンダー	子育て支援課	3歳児の保護者を対象にした食生活や読書等の生活習慣の大切さを啓発するカレンダータイプのガイドブックを作成配布。	配布数	部	—	9,000部	9,000部	9,000部	—	9,000部	○			子ども支援課
家庭教育セミナー	生涯学習課	思春期の子ども保護者によるグループ等の学習会に講師を派遣し、家庭でのしつけ等についての学習機会を提供。	学習会への参加者数	人	—	0回 0人	1回 67人	0回 0人	—	0回 0人	○	思春期の子ども保護者によるグループ等の学習会に講師を派遣し、家庭でのしつけ等についての学習機会を提供。	継続実施	生涯学習推進課
年齢別連続育児講座(0、1、2歳コース)	子育て支援課 子育て支援センター	年(月)齢毎の発達段階に沿った「食育の進め方」を栄養士により講話。	—	—	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	○			子ども支援課
乳幼児ママパパ教室	子育て支援課	保育所、幼稚園、地域の子育てグループ等の学習会へ講師を派遣し、保護者等に家庭や両親の在り方、子どもの心身の成長やしつけ等、家庭教育についての学習機会を提供。	学習会への参加者数	人	—	10,211人	10,178人	8,781人	—	集計中	○			子ども支援課
ブレママ・パパ教室(両親学級)	子育て支援課 子育て支援センター	妊婦を対象に保育体験を行い離乳食の試食を行う。	—	—	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	○			子ども支援課

取り組み名称	関係部署名	業務内容	評価		評価指標等					進捗状況等				平成24年度以降の 関係部署名
			評価 指数	単位	H19度 実績	H20度 実績	H21度 実績	H22 実績	H24度 目標	H23 実績	判定 ◎○ △×	H23度業務内容等	課題や H24の取り組み	
OH-えんタイム	子育て支援課 子育て支援センター	「食育」の講話を管理栄養士が実施。	-	-	継続実施	-	-	継続実施	継続実施	継続実施	○	7回		健康づくり推進課 各区保健子ども課 子育て支援センター
介護予防普及啓発事業	高齢介護福祉課・保健福祉センター	各校区で実施されている、「ふれあいサロン」での食生活改善、低栄養予防などについての健康教育を依頼により実施。講演会等も開催。	実施回数	回	継続実施	1,332回	852回	700回	継続実施	集計中	○	保健福祉センターにおける介護予防講演会等 ・介護予防講演会・介護予防教室等552回 ・相談会等 142回 ・イベント 6回		高齢介護福祉課 各区役所福祉課
地域介護予防活動支援事業	高齢介護福祉課・保健福祉センター	食生活改善推進員、8020推進員、民生委員等を対象に、地域で高齢者の健康づくりを支援するため、講演会等を開催。介護予防サポーター事業実施。	実施回数	回	継続実施	457回	4,400回	4072回	継続実施	集計中	○	・介護予防サポーター養成講座7回 ・保健福祉センターにおける地域活動の育成支援2,733回 ・植木町ふれあいいきいきサロン1,332回		高齢介護福祉課 各区役所福祉課
精神障がい者サロン、 当事者勉強会	障がい保健福祉課・保健福祉センター	精神障がい者サロン、当事者勉強会の調理実習、会食等の際、食について考える。	実施回数	回	-	調理実習 13回/年 「メタボ対策」講話 1回/年		調理実習 13回/年	継続実施	調理実習 12回/年	○	中央:2回 東:2回 西:4回 南:1回 北:1回 自主G:2回 計 12回	各区の精神障がい者サロンで実施するため、各区役所で生活習慣病予防の視点で実施していく。	障がい保健福祉課 福祉課
乳幼児経過観察健診	子育て支援課・保健福祉センター	子どもの発育・発達状況に応じた指導を行う。	受診率	受診率	100%	100%	100%	100%	100%	集計中	◎			子ども支援課 各区役所保健子ども課
妊婦・乳児健康診査	子育て支援課	委託医療機関において妊婦・乳児の健康診査を行い、必要に応じて栄養指導等を行う。	受診率	受診率	妊婦健診 95.9% 乳児健診 84.8%	妊婦健診 95.1% 乳児健診 95.2%	妊婦健診 98.7% 乳児健診 95.7%	妊婦健診 97.6% 乳児健診 96.1%	100%	集計中	○			子ども支援課
妊婦一般健康診査事後指導	子育て支援課・保健福祉センター	委託健診を実施し、医師の指示により健診後のフォローとして栄養指導を行う。	相談件数	指導率	100%	100%	100%	100%	100%	集計中	◎			子ども支援課 各区役所保健子ども課
3・7か月健康診査事後指導	子育て支援課・保健福祉センター	委託健診を実施し、医師の指示により健診後のフォローとして栄養指導を行う。	相談件数	指導率	100%	100%	100%	100%	100%	集計中	◎			子ども支援課 各区役所保健子ども課
1歳6か月児健康診査	子育て支援課・保健福祉センター	幼児期の食生活について指導を行い、手作りおやつを試食を行う。	受診率	受診率	96%	96.0%	94.6%	95.7%	100%	集計中	○			子ども支援課 各区役所保健子ども課

取り組み名称	関係部署名	業務内容	評価		評価指標等					進捗状況等				平成24年度以降の関係部署名
			評価指数	単位	H19度実績	H20度実績	H21度実績	H22実績	H24度目標	H23実績	判定 ◎○ △×	H23度業務内容等	課題やH24の取り組み	
3歳児健康診査	子育て支援課・保健福祉センター	幼児期の食生活について指導を実施	受診率	受診率	94%	93.7%	94.0%	94.8%	100%	集計中	○			子ども支援課 各区役所保健子ども課
保育所・給食体験	子育て支援課・子育て支援センター	素材を大切に食材の選び方や楽しく食べる方法を親子での保育体験を通して、同年齢の子どもの給食見学や試食により学習してもらう。	—	—	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	◎			子ども支援課 子育て支援センター
小児生活習慣病予防検診	健康教育課	小児期の肥満に早期に対応し、小児生活習慣病に関する意識の高揚を図るため、小学4年生の肥満度20%以上の児童に対して、検診と保護者への指導を実施している。	肥満度20%以上の児童の割合 ★成果指標	%		小学生 7.9 中学生 8.3	小学生 7.31 中学生 7.70	小学生 7.5 中学生 8.0	小学生 7.0 中学生 7.5	小学生 6.77 中学生 7.67	○	対象人数572名 受診者301名 受診率 52.6%		健康教育課
「ひご野菜」を使った家庭料理の調理実習会 <平成22年度新規>	生産流通課、健康福祉政策課、保健福祉センター、総合支所保健福祉課	ひご野菜をはじめとした地産野菜の消費拡大を図るため、レシピを開発。食生活改善推進員と協力し、家庭への普及を図る。	—	—	—	—	—	栄養士対象 2回 32人 食生活改善推進員 対象 6回 190人	—	—	—	南：食生活改善推進員対象 1回 22人	・「ひご野菜」普及については、行政主導から、民間レベルの活動に広がりを見せているため、民間が行う取り組みを支援していくと共に、引続き各種イベントでのPRやレシピ集の作成及びびくまもと農商エサイトを活用した認知度の向上を図る。	農業政策課 各区役所 農業振興課

【具体的な取り組み(関係団体)】

名称	関係団体	H23度取り組み内容	H23度実績	今後の予定
保健事業における健康づくり支援	熊本県総合保健センター	特定保健指導 国で定められた手引きに基づいて実施	動機付け支援:73 積極的支援:31	特定保健指導 行動変容ステージに あったアプローチを行う 栄養相談
健康教室	熊本県栄養士会 熊本市地域事業部	① 講話「みんなで健康チェック 楽しく考えよう」 講師:管理栄養士 東海英子 ② クリスマス親子料理教室 講師:管理栄養士 前崎 由衣	平成23年12月4日 熊本市中央公民館 52人	
乳幼児と保護者対象 「むし歯予防講座」	熊本県歯科衛生士会	演題「むし歯予防は食育から」～飲食物の食べ方、飲ませ方でムシバは減らせます～ 歯磨き実地指導	平成23年11月10日子ども文化 会館 (乳幼児17人、保護者18人)	

I 「市民自らが育む食」への理解と健全な食生活の実践

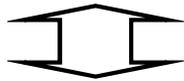
2) 学校・保育所等における食育の推進 ～経験から学ぶ食の大切さ～

【成果指標】

	H19	H20	H22	H24(目標)
(6) 保育所における食育に関する計画の策定割合	(H19)公立 40.0% 私立 16.7%	100% 66%	100% 70%	100% 100%
(7) 幼稚園における食育に関する計画の策定割合	(H19)公立 0% 私立	0%	100% 33.0%	100% 80%
(8) 小・中学校における食育に関する計画の策定割合	(H19)小学校 100% 中学校 100%	100% 100%	100% 100%	100% 100%

【取り組むべき施策】

- ① 保育所等における食育の推進
- ② 小・中学校における食育の指導体制及び内容の充実
- ③ 学校給食の充実



【具体的な取り組み(行政)】

取り組み名称	関係部署名	業務内容	評価		評価指標等					進捗状況等			平成24年度以降の 関係部署名	
			評価 指数	単位	H19度 実績	H20度 実績	H21度 実績	H22 実績	H24度 目標	H23 実績	判定 ◎○ △×	H23年度業務内容等		課題や H24の取り組み
保育所での体験型食育	保育幼稚園課	園庭などで稲や野菜の栽培・収穫、日常の献立における調理実習や食生活改善推進員とのクッキング等を実施。	—	実施 園数	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	◎	園庭などで稲や野菜の栽培・収穫など	継続実施	保育幼稚園課
保育所給食における給食実物等の展示	保育幼稚園課	家庭に日々の給食内容を知らせるとともに、食べ物について、園児と保護者との会話を促す。	実施率 ★成果 指標	実施 率%	公立 100% 私立 53%	100% 66%	100% 70%	100% 71%	100% 80%	100% 75%	◎	研修会で給食実物展示による食育の目標や効果について説明した	継続実施	保育幼稚園課
保育所における食育に関する計画の策定	保育幼稚園課	保育所における食育推進を図るための具体的な計画を作成する。	策定率 ★成果 指標	策定 率%	公立 40.0% 私立 16.7%	100% 66%	100% 70%	100% 86%	100% 100%	100% 91%	◎	研修会で食育の計画策定について説明した	継続実施	保育幼稚園課
幼稚園における食育に関する計画の策定	健康教育課	公立幼稚園における食育推進を図るための具体的な計画を作成する。	策定率 ★成果 指標	策定 率%	公立 0 私立 0	0 0	100% —	100% 33%	100% 80%	100% 調査中	◎			健康教育課
小・中学校における食育に関する計画の策定	健康教育課	具体的な計画を作成し、学校における食育推進を図るため、各校における食育の推進体制を作成。	策定率 ★成果 指標	策定 率%	小学校 100% 中学校 100%	100% 100%	100% 100%	100% 100%	100% 100%	100% 100%	◎	研修会で計画の見直しについて指導を行った	継続実施	健康教育課
「食育の日」の実践と食に関する指導資料集(給食時間)の作成	健康教育課	市産品を使用した献立を実施し、児童・生徒に指導するための資料集(給食時間)を作成し、全校に配付している。	—	—	継続実施	継続実施	継続実施	実施	継続実施	実施	◎	CD資料を全校に配布した	継続実施	健康教育課
食に関する授業等の実施	健康教育課	教科指導、道徳、学級活動、総合的な学習の時間等において授業を行うほか、給食時間を活用して食の指導を行う。	—	—	継続実施	継続実施	継続実施	実施	継続実施	実施	◎		継続実施	健康教育課

取り組み名称	関係部署名	業務内容	評価		評価指標等					進捗状況等				平成24年度以降の関係部署名		
			評価指数	単位	H19度実績	H20度実績	H21度実績	H22実績	H24度目標	H23実績	判定◎○△×	H23度業務内容等	課題とH24の取り組み			
料理教室・栽培活動等の体験活動の実施	健康教育課	学校における親子料理教室やキッズクッキング等の開催、学校農園での野菜等の栽培及び学校給食への活用などを進める。	—	—	継続実施	継続実施	小学校100% 中学校76%	100%	93%	100%	100%	98%	○	農業体験活動(野菜づくり、米栽培・収穫など)や加工食品(みそ)などの体験活動が各学校で実施されている。	継続実施	健康教育課
学校給食献立の研究	健康教育課	食育の教材となる献立を作成し学校給食の充実を図る。	—	—	継続実施	継続実施	継続実施	実施	継続実施	実施	◎	—	◎	夏季休業中に献立の検討研修会を実施	継続実施	健康教育課
ふれあい給食の実施	健康教育課	児童・生徒と地域住民との会食を通して学校給食についての理解と関心を深める。	ふれあい給食を実施する学校数	実施率%	(H18)小学校95% 中学校47%→	97.5%	86.4%	99%	100%	100%	100%	88%	○	老人会、民生児童委員、学校評議員などを対象に各学校でふれあい給食会を実施	継続実施	健康教育課
わくわく楽しい学校給食作品展	健康教育課	給食に関する児童生徒の作品を展示。	作品展の実施	—	継続実施	実施	作品展展示会のみ実施	実施	実施	作品展展示会実施	◎	—	◎	作文、絵画、習字、給食献立の各部門において作品総数5,271点の応募があり、表彰・作品展を行った	継続実施	健康教育課
食育推進指導案集作成<平成20年度新規>	健康教育課	学校における具体的な食育指導の実践を深める為、「食育推進指導資料集」としてまとめ各小・中学校に配布し、食育の充実を図る。	—	—	—	作成	—	—	—	—	—	—	—	—	作成予定なし	健康教育課
小中学生向け「ひご野菜」教本の作成・配布<平成22年度のみ>	生産流通課(地産地消推進室)教育委員会	「ひご野菜」を児童生徒に周知し、子どもを持つ家庭での認知度向上と消費拡大を図るとともに、くまもとの伝統野菜の歴史や現状を知り、ひご野菜が持つ魅力と食の楽しさを学習してもらうため、200部を作成し小中学校へ配布する。	「ひご野菜」の冊子を配布した学校・共同調理場数	配布率(%)	—	—	—	熊本市内小学校92校 中学校42校 共同調理場18箇所	100%	年間を通して学校給食にひご野菜の導入を図るとともに、「給食だより」等により更なる認知度の向上を図る。	年間を通して学校給食にひご野菜4品目の導入を図る。(レンコン・セリ・セリ・春日ぼうぶら)	○	○	学校給食にひご野菜を食材として提供する月の「給食だより」にひご野菜を紹介することで、ひご野菜の認知度の向上を図った。	継続実施	農業政策課 健康教育課

【具体的な取り組み(関係団体)】

名称	関係団体	H23度取り組み内容	H23度実績	今後の予定
わんぱく祭り	熊本市保育園連盟	給食の様子を写真で展示。廃油石けんを作り、作り方とともに配布。おやつレシピも配布した。	わんぱく祭り(雑草の森)年1回	食育の取り組みのパネル展示、保育園のおやつレシピも配布と試食。
熊本市立小学校歯磨き巡回指導事業	熊本県歯科衛生士会	講話と歯磨き実践 むし歯・歯肉炎の原因と予防方法を学ぶ。 食育:よくかんで食べる習慣を身につける。 すき嫌いのない食事をすると健康につながる。 おやつを取り方:よくかむと顎が発達して永久歯の歯並びがよくなり、むし歯・歯肉炎予防になる。	平成23年6月・11月 10校 3年生:29学級、児童数850人 4年生:1学級、児童数24人 特別支援学級:9校 児童数95人 保護者	

I 「市民自らが育む食」への理解と健全な食生活の実践

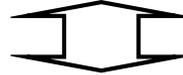
3) 家庭・学校・地域等が連携した食育の推進

【成果指標】

数値目標	H19(直近年)	H20実績	H22	H24(目標)
親子料理教室等健康づくり活動へ参加したことがある市民の割合	22.60%	21.3%	20.4%	35%

【取り組むべき施策】

- ①学校・保育所等を通じた保護者への啓発推進
- ②学校・保育所と地域との連携促進



【具体的な取り組み(行政)】

取り組み名称	関係部署名	業務内容	評価		評価指標等					進捗状況等			平成24年度以降の 関係部署名	
			評価 指数	単位	H19度 実績	H20度 実績	H21度 実績	H22 実績	H24度 目標	H23 実績	判定 ◎○ △×	H23年度業務内容等		課題や H24の取り組み
「食育だより」の発行	保育幼稚園課	献立表と一緒に毎月「食育だより」を発信。	食育だよりを発行する園	実施率%	公立100% 私立92%	100% 97%	100% 99%	100% 98%	100% 100%	100% 100%	◎	献立表と一緒に毎月「食育だより」を発信。	継続実施	保育幼稚園課
保護者の保育参観	保育幼稚園課	保育所で提供している給食の試食と保育所給食の説明。	-	-	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	◎	保育参観(保育参加)時に給食の説明と試食会を行った 公立 23園 実施 38回 参加者1771人	継続実施	保育幼稚園課
地域の親子対象調理実習	保育幼稚園課	地域に住む親子と、保育所給食で同年齢の園児が食べている献立を使って、料理教室を行う。	-	-	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	○	公立 10園 実施	継続実施	保育幼稚園課
「給食だより」や「食育だより」の発行	健康教育課	「給食だより」や「食育だより」を発行し、児童、保護者への食に関する啓発を行う。	たよりを発行する学校数	実施率%	(H18) 小学校79% 中学校78%	100% 100%	100% 100%	100% 100%	100% 100%	100% 100%	◎	毎月各学校、共同調理場より発行	継続実施	健康教育課
生活習慣改善啓発パンフレットの作成・配布	健康教育課	生活改善パンフレットを保護者に配布することにより、基本的な生活習慣について啓発している。	-	-	新入学児童配布7,000枚	配布実施	配布実施	継続実施	配布実施	◎		継続実施	健康教育課	
健康手帳(小中学生用)の作成・配布・活用	健康教育課	肥満傾向にある子どもに対し、健康手帳を活用し家庭と連携した指導を行うことにより、小児生活習慣病の減少をめざしている。	-	-	小学校配布987冊 中学校配布561冊	配布実施	配布実施	継続実施	配布実施	◎		継続実施	健康教育課	

【具体的な取り組み(関係団体)】

名称	関係団体	H23度取り組み内容	H23度実績	今後の予定
「今なぜ食育なの？」	熊本市PTA協議会	1熊本市PTA研究大会での研修 2学校給食に関する充て職での研修及び報道	1「食育は全ての土台～親が変われば子ども変わる～」講演会 2「学校給食会関連」「食の安全安心・食育推進会議」への参加と他への報道。	・市P研究大会での研究 ・充て職を通じて研修 ・単Pごとの研修 ・市Pだより等での啓発。
おやこの食育教室	健康くまもと21市民会議	【内容】調理実習・試食・まとめ 【場所】龍田市民センター 【応募方法】龍田児童館・母親クラブからの講座依頼があつて開催 【受講費】今回については、同クラブの自主運営。	平成24年1月27日(金) 参加者:大人12人、子ども12人	
おやこの食育教室事業	熊本市 食生活改善推進員協議会	主に、幼児期・小学生の親子を対象に、親子クッキングを行いながら、栄養のバランスのよい食べ方などの啓発を行う。	中央・東で計2回実施。 12/1 親子91人(0～3歳児とその親) 9/6 親子29人(保育園児とその親)	継続実施
男性のための料理教室		男性も自らの健康に気を配り、元気に暮らしていくことができるよう、自立支援と生活習慣病予防を目的に実施 30歳以上の男性・高齢者対象	植木支部にて実施 老人会 21名	継続実施
子育てサークル等での食育		地域の子育てサークルなどで、食育活動・子育て支援を行う。	市民からの依頼により実施	継続実施
地域における子育て中の保護者支援		お隣さん・ご近所さんの食生活改善支援として、身近なところで離乳食等の相談に応じる	市民からの依頼により実施	継続実施
保育所での親子料理教室等		保育園・幼稚園等からの依頼により、調理実習やエプロンシアター等の実施による啓発活動	市民からの依頼により実施	継続実施
小中学校での食育活動		小学校・中学校からの依頼により、調理実習、読み聞かせ等の実施による啓発活動	小・中学校からの依頼により実施	継続実施
よい食生活をすすめるためのグループ講習会		配布テキストの中から、数種の献立を選び、調理実習による普及講習会を実施(牛乳・乳製品の摂取を高めるための食生活改善講習会)	南支部 管内の住民 23人	継続実施
CKD(慢性腎臓病)対策減塩食家庭料理普及促進事業		1)熊本市の栄養士が作成した「一食の塩分が3グラム以下で、600キロカロリー以下の献立表」をもとに市民向けのヘルシー減塩食レシピ集(レシピ写真入り)を作成した。 2)市民向け減塩料理教室の開催 主に家庭の主婦層、育児中の親世代(20～50歳代)を対象	全19回 426人	単年度事業
食育の推進		熊本市私立幼稚園協会	平成22年度の実績をもとに、子どもの食育推進ネットワークとの連携を図りながら、各園で食育指導・保護者への食育に関する啓発活動を行う。	・身近な食材を使用した食品(とうふ) ・各円での野菜栽培。 ・保護者への講習会

名称	関係団体	H23度取り組み内容	H23度実績	今後の予定
食育推進「母子福祉支援活動」 ～楽しいクリスマス料理～	熊本県栄養士会 熊本市地域事業部	クリスマス親子料理教室 ①栄養講座 ②食事バランスガイド体操 ③調理実習 ④会食	平成23年12月4日 熊本市中央公民館 52人	継続実施
市民公開講座		①講演:知っていますか?誤嚥と嚥下 ②講演:魚の栄養・魚の目利き	①平成23年8月2日:参加者 48名 ②平成24年2月4日:参加者 84名	継続実施
歯磨き巡回指導	歯科医師会	虫歯になる原因、ブラッシングと共に食育、バランスの良い食事、甘いものを控え好き嫌いのないなんでも食べる元気な子。よくかんで食べることも指導する。1時間の授業時間で実施。	6月に6校 11月に4校	継続実施
高齢者対象 「お口の健康講座」	歯科衛生士会	演題「よく噛んで食べていつまでもイキイキ生活を」～窒息・誤嚥を防ぐ食べ方・口の機能低下を防ごう～ 健口体操・ゲーム	平成23年12月10日 出水南コミセン、地域高齢者25人	継続実施

II 健全な食生活を実践するための環境整備

1) 日本型食生活の実践へ向けた情報の発信

【成果指標】

数値目標	H19	H20	H22	H24(目標)
(10) 食事バランスガイドを参考にした食生活を実践する市民の割合	27.1%	80.5% *	27.9%	40%
(11) 日本型食生活を実践している市民の割合	81.5%	81.5%	78.8%	85%
(12) 食育に関する活動や行動をしている市民の割合	29.3%	30.4%	28.0%	40%

【取り組むべき施策】

- ① 「食事バランスガイド」等を活用した食生活の実践への支援
- ② 保健福祉センター等における食育に関する普及啓発活動の推進

* 平成19年度調査と設問形式が異なるため、参考値として提示

【具体的な取り組み(行政)】

取り組み名称	関係部署名	業務内容	評価		評価指標等					進捗状況等			平成24年度以降の関係部署名	
			評価指数	単位	H19度実績	H20度実績	H21度実績	H22実績	H24度目標	H23実績	判定◎○△×	H23度業務内容等		課題やH24の取り組み
すこやか食生活改善講習会	健康福祉政策課・保健福祉センター	小学校区ごとに生活習慣病予防を目的とした献立の普及を図る調理実習や食事バランスガイドの啓発を行う	すこやか食生活改善講習会参加者数(延べ)	人	28,785人	30,610人	32,577人	34,727人	39,500人	36,843人	○	中央:312人(13校区) 東:393人(17校区) 西:450人(20校区) 北:469人(21校区)※植木含む 南:492人(21校区)		健康づくり推進課 各区役所 保健子ども課
育児教室	子育て支援課・保健福祉センター	4~5か月児(第1子)の発育・健康増進のための情報を提供	-	-	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	○	中央:131人 東:284人(年12回) 西:97人 北:101人 南:141人		子ども支援課 各区役所 保健子ども課
両親学級	子育て支援課・保健福祉センター	妊婦とその夫などに妊娠期・授乳期の望ましい生活習慣等の指導を行う。	参加者数	人	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	○	中央:183人 東:189人 西:68人 北:74人 南:54人		子ども支援課 各区役所 保健子ども課
妊産婦健康相談	子育て支援課・保健福祉センター	妊産婦の食生活について指導を行う。	来所者数	人	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	○	中央:712人 東:843人 西:291人 北:665人 南:637人		子ども支援課 各区役所 保健子ども課
育児相談	子育て支援課・保健福祉センター	乳幼児の食生活について指導を行う。	来所者数	人	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	○	中央:420人(乳児239人、幼児181人) 東:445人(乳児445人、幼児202人) 西:249人 北:304人(乳児223人、幼児81人) 南:698人(乳児429人、幼児269人)		子ども支援課 各区役所 保健子ども課
ピカピカカミ教室	子育て支援課・保健福祉センター	1歳6か月児健康診査後のフォロー教室(幼児期におけるむし歯予防のための食習慣の講話・おやつを試食、ブラッシング指導)	参加者数	人	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	○	中央:113人 東:90人 西:64人 北:97人 南:90人		子ども支援課 各区役所 保健子ども課

取り組み名称	関係部署名	業務内容	評価		評価指標等					進捗状況等			平成24年度以降の 関係部署名	
			評価 指数	単位	H19度 実績	H20度 実績	H21度 実績	H22 実績	H24度 目標	H23 実績	判定 ◎○ △×	H23年度業務内容等		課題とH24の取り 組み
公立障がい児 デイサービス事業	保育幼稚園課	公立保育所における障害児デイ サービスを利用する障害児とその 保護者を対象とした栄養相談・ 指導	延べ参加 人数	人	901人	1,020人	2,385人	3,386人	2,400人	3417人	◎		継続実施	
ふれあい出前講座	生涯学習課	市及び関係行政機関等の職員が 講師として地域や学校に出向き、 業務の説明や専門知識を活かし た講話や実習等を行う。	ふれあい 出前 講座「食 育講座」 開催数	回	—	20回	27回	31回	40回	34回	○	ふれあい出前講座の中で食育に関する 講座を紹介し、実施した。 ・保健福祉センター「食育講座」 実施回数5回 受講者数220人 ・保健福祉センター 「今すぐ始める生活習慣病予防」 実施回数9回 受講者数275人 ・保健福祉センター「女性のための健康講 座」 実施回数2回 受講者数45人 ・食品保健課「シャットアウト食中毒」 実施回数13回 受講者数393人 ・食卓に並ぶ安全な食品 実施回数2回 受講者数85人 ・東海大学九州キャンパス 「発酵食品と健康(1)」 実施回数3回 受講者数90人	継続実施	生涯学習推進課
40～64歳の健康教育	保健福祉セン ター	40～64歳の市民に対し、生活習 慣病予防のためや健康づくりに 関する知識の普及・啓発を行う。	参加人 数	人	6,077人	4,039人	11,057人	12,499人	13,000人	集計中	○		継続実施	各区役所 保健子ども課
40～64歳の健康相談	保健福祉セン ター	40～64歳の市民に対し、個人個 人の生活習慣や食習慣に応じ て、生活習慣病予防や健康づく りに関しての助言・相談を行う。	参加人 数	人	4,416人	2,372人	6,699人	4,477人	10,136人	集計中	○		継続実施	各区役所 保健子ども課
中食を中心とした食生 活改善マニュアルの作 成	健康福祉政策課	食の乱れが著しい高校生・青年 期をターゲットとし、中食の上手な 利用方法・組み合わせ等を提案 する	なし	-	-	作成	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	○		継続実施	健康づくり推進課
生活習慣病対策食育実 践講座の開催 <平成21年度新規>	健康福祉政策 課・保健福祉セ ンター	事業所・大学等の従業員に対し て、食事バランスガイドやエクサ サイズガイドを用いた啓発を行う	参加者 数	人	-	-	大学生 約750人 従業者 67人	大学生 約944人 従業者 248人	-	大学生 約1,049 人 従業者 381人	○	崇城大学 熊本西ロータリークラブ 尚綱大学九品寺キャンパス 九州電気管理技術者協会 尚綱大学楡木キャンパス (株)アネシス 東海大学熊本キャンパス 家庭裁判所 熊本学園大学 ホテル日航熊本 パン物語 リョーユーパン 熊本工場 はばたきホーム 白玉屋 新三郎 弘乳舎カフェ 白玉屋 新三郎	継続実施	健康づくり推進課 各区役所 保健子ども課

取り組み名称	関係部署名	業務内容	評価		評価指標等					進捗状況等			平成24年度以降の 関係部署名	
			評価 指数	単位	H19度 実績	H20度 実績	H21度 実績	H22 実績	H24度 目標	H23 実績	判定 ◎○ △×	H23度業務内容等		課題とH24の取り 組み
栄養成分表示実施店舗 の紹介 <平成22年度新規>	健康福祉政策 課、食品保健課	栄養成分表示店舗の紹介・広報	店舗数	店	-	-	13店	9店	25店	10店	○	<ul style="list-style-type: none"> ●おかず横丁 ●喫茶おーさあ ●白玉屋新三郎 ●茶葉房 林檎の樹 ●パン物語 ●カフェ&バー弘乳舎 ●ごま豆腐工房くず野 ●鈴の家 ●茶舗 利休園 ●円の家 	募集基準を見直 し、継続実施	健康づくり推進課 各区役所 保健子ども課 食品保健課
CKD対策事業	健康福祉政策 課、保健福祉セ ンター	適切な食生活を実践することで、 CKD予防を図り、新規人工透析 者の減少を目指す。	新規人 工透析 者数の 減少	人	300人	-	-	平成26 年度 200人	-			中央:CKD予防教室 3回 46人 東:CKD予防及びメタボ改善教室 4回 103人 西:CKD予防教室 4回 62人 北:CKD予防教室4回 69人 南:CKD予防教室4回 85人 計19回のべ365 人	継続実施	健康づくり推進課 各区役所 保健子ども課
女性の健康支援対策事 業 <平成21年度のみ>	健康福祉政策 課、保健福祉セ ンター	ライフステージ毎の健康課題を明 らかにし、適切な生活習慣や食生 活を実践できるよう支援する。					実施							-

【具体的な取り組み(関係団体)】

名称	関係団体	H23度取り組み内容	H23度実績	今後の予定
食事バランスガイド地域 普及講習会	熊本市食生活改善推進員協議会	食事バランスガイドについて、地域住民に対して啓発を行う。	地域住民に実施	継続実施
よい食生活をすすめる ためのグループ講習会	熊本市食生活改善推進員協議会	配布テキストの中から、数種の献立を選び、調理実習による普及講習会を実施 (牛乳・乳製品の摂取を高めるための食生活改善講習会)	南支部 管内の住民 23人	継続実施
若者のための食育・料 理講座	健康くまもと21市民会議	これからの子どもを産み育てる若い世代に自分たちの食生活の見直し、将来に備えてもら おうと企画。食事バランスガイド等の講演、調理実習を行う。 【内容】講話・魚のさばき方実演・調理実習・試食・まとめ 【応募方法】市内大学、専門学校及び高校に在学する学生を対象に公募 【受講費】1人500円 【協賛】JF熊本漁連・熊本ヤクルト株式会社	平成23年6月4日(土) 【場所】熊本市青年会館 参加者:12人	継続実施
栄養に関する表示支援 実施事業における栄養 価計算等業務(委託)	熊本県栄養士会	①栄養に関する表示の実施に必要な献立の作成や助言、栄養価計算等(協働事業)	7月下旬~23年12月28日 ・10店舗	継続実施

Ⅱ 健全な食生活を実践するための環境整備

2) 食生活改善をサポートする人材の育成

【成果指標】

	H19	H20	H22	H24(目標)
食育推進に関するボランティア数	560人	792人	1,101人	1,250人

【取り組むべき施策】

- ① 管理栄養士、栄養士、専門調理師等、専門的知識を有する人材の育成と活用促進
- ② 食生活改善推進員等地域支援者の育成

【具体的な取り組み(行政)】

取り組み名称	関係部署名	業務内容	評価		評価指標等					進捗状況等			平成24年度以降の 関係部署名	
			評価 指数	単位	H19度 実績	H20度 実績	H21度 実績	H22 実績	H24度 目標	H23 実績	判定 ◎○ △×	H23年度業務内容等		課題や H24の取り組み
栄養士・管理栄養士 養成施設実習生受け入れ	保健福祉セン ター	管理栄養士等養成施設からの依 頼により、実習生が公衆栄養の 実践活動の場における課題発 見・解決を通して管理栄養士等と して必要な知識・技能を習得す ることを支援。	受入数	人	継続実施	23人	40人(全 体)	37人	継続実施	40人(全 体)	◎	中央:8人 東:8人 西:8人 南:7人 北:7人 植木総合支所:2人	継続実施	各区役所 保健子ども課
栄養士・管理栄養士 養成施設臨地実習および 校外実習生受け入れ	健康教育課	管理栄養士等養成施設からの依 頼により、実習生が学校給食に おける課題発見・解決を通して管 理栄養士等として必要な知識・技 能を習得することを支援。	受入数	人	継続実施	継続実施	97人	93人	継続実施	85人	◎	給食管理と給食時間における食に関 する指導等を5日間で指導。学校教育 における食育のあり方について実習し た。	継続実施	健康教育課
栄養教諭養成施設教育 実習生受け入れ	指導課 健康教育課	栄養教諭養成施設からの依頼に より、栄養教諭として児童・生徒 の発育に必要な栄養状態の管理 や、学校における食に関する指 導に必要な知識・技能を習得す ることを支援。	受入数	人	—	—	8人	9人	—	10人	◎	給食管理と給食時間および給食時間、 授業等における食に関する指導等を5 日間で指導。学校教育における食育 のあり方について実習した。	継続実施	指導課 健康教育課
栄養士及び調理師 対象の衛生教育	食品保健課	研修会を開催し、厚生労働省の 指導方針や最新の栄養情報、健 康づくりや衛生管理等に関する情 報を伝達。	衛生教 育延べ 受講者 数	人	1,041人	1,098人	1,067人	1,328人 1,216人	900人	958人	◎	調理師研修会 2回/栄養管理研修会 2回/合同研修会 1回を開催	継続実施	食品保健課
食品情報の迅速で 正確な収集と発信 (大量販店ネットワーク)	食品保健課	市民及び食品関連事業者に対し て、市ホームページ・市報及び各 種メディアなどの広報媒体を通じ て正確な情報を発信。	発信回 数	回	30回	41回	28回	31回	40回	30回	○	30社(132店舗、H24.3月末現在)に対 し、定期情報 24回/緊急情報 3回(食 中毒注意報)/臨時情報 3回をFAX/電 子メールにて情報提供	継続実施	食品保健課

取り組み名称	関係部署名	業務内容	評価		評価指標等					進捗状況等			平成24年度以降の 関係部署名	
			評価 指数	単位	H19度 実績	H20度 実績	H21度 実績	H22 実績	H24度 目標	H23 実績	判定 ◎○ △×	H23度業務内容等		課題や H24の取り組み
地域歯科保健研修会等の開催	健康福祉政策課	口の健康に対する市民意識の向上を図ることを目的に、口の健康づくりに必要な情報を提供する。	口の健康に満足している市民の割合	%	(H18) 29.8%	26.1%	21.5%	40.0%	40%	集計中	◎		継続実施	健康づくり推進課
食育担当者等研修会、栄養教諭・学校栄養職員研修会の実施	健康教育課	食育担当者等を対象として食育推進体制の整備や食育全体計画策定等の研修会を開催。また栄養教諭・学校栄養職員を対象として授業力向上等の研修会を行う。	開催回数	—	継続実施	継続実施	「健康教育研修会」2地区に分かれて8/18・8/19 「栄養教諭・学校栄養職員研修会」	各校の食育担当者および栄養教諭・学校栄養職員が参加	食育担当者研修会(200人) 栄養教諭・学校栄養職員研修会(70人)の実施	5/12実施 食育担当者研修会(200人) 栄養教諭・学校栄養職員研修会(72人)が参加	◎	各学校の食育担当者および全栄養教諭・学校栄養職員が参加する。本年度の健康教育課の取組、食育計画の整備についての説明、学校における食育活動の実践発表およびワークショップによる情報交換を実施。	継続実施	健康教育課
生活習慣病予防対策スキルアップ事業	健康福祉政策課	健康づくりに関する地域ボランティアや職域の衛生管理者等を対象とした意識啓発やスキルアップ事業を開催するもの	—	—	継続実施	地域編と職域編を5回/年	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	◎			健康づくり推進課

【具体的な取り組み(関係団体)】

名称		H23度取り組み内容	H23度実績	今後の予定
調理師全体研修会及び保育士・調理師合同研修会	熊本市保育園連盟	年4回乳幼児期の子どもたちの食育に携わる関係者に対して、食育に関して共通した認識のもと、講師等から専門性とスキルアップにつながる情報提供を受ける。	調理師全体会 年3回 保育士・調理師合同研修会 年1回	継続実施

II 健全な食生活を実践するための環境整備

3) 食品関連事業者等と連携した食育の推進

【成果指標】

	H19	H20	H22	H24(目標)
飲食店で栄養成分表示を見たことがある市民の割合	56.3%	54.1%	56.9%	65%

【取り組むべき施策】

- ①飲食店や食品販売店におけるヘルシーメニューの提供促進
- ②食品工場見学等、体験を通じた食育情報の提供
- ③事業者等に対する食育の普及啓発の促進

【具体的な取り組み(行政)】

取り組み名称	関係部署名	業務内容	評価		評価指標等					進捗状況等			平成24年度以降の関係部署名	
			評価指数	単位	H19度実績	H20度実績	H21度実績	H22度実績	H24度目標	H23実績	判定 ◎○ △×	H23度業務内容等		課題やH24の取り組み
健康くまもと21推進事業(健康づくりできます店)	健康福祉政策課	地産地消、栄養成分表示など健康づくりに積極的に取り組む飲食店等の認知と市民への周知を図る。	登録店舗数	店舗	114店舗		114店舗	115店 (平成23年2月末)	150店舗	111店 (平成23年2月末)	○	スタンプラリーを実施(H24.2~3月)健康づくりできます店ガイドブックの作成、配布できます店の要綱を見直し、ヘルシーメニューの中に減塩普及のための「減塩美食」の項目を追加した。	「減塩美食」=塩分3g以下=1メニュー、の登録店舗を増やす	健康づくり推進課 食品保健課
食育推進企業団(仮称)の設置<平成20年度新規>	健康福祉政策課	食育を推進するための民間団体(主に食品関連事業者)で構成する連絡会	登録団体数	団体(者)数	—	モデル店として9企業	企業セミナー参加者として33企業		増加	—	—			健康づくり推進課
食品関連事業者等への支援<平成21年度新規>	健康福祉政策課	食事バランスガイド等を使った啓発を行う食品関連事業者を増やすための支援	実施施設数	施設数	—	—	13企業	9企業	増加	10企業	○	<ul style="list-style-type: none"> ●おかず横丁 ●喫茶おーさあ ●白玉屋新三郎 ●茶菓房 林檎の樹 ●パン物語 ●カフェ&バー弘乳舎 ●ごま豆腐工房くず野 ●鈴の家 ●茶舗 利休園 ●円の家 	募集基準を見直し、継続実施	健康づくり推進課 各区役所保健子ども課

【具体的な取り組み(関係団体)】

名称	関係団体	H23度取り組み内容	H23度実績	今後の予定
健康づくりできます店登録事業	健康くまもと21市民会議	<p>熊本市内の飲食関係事業者で、以下に挙げる項目のうちひとつでも取り組みを行っている事業者を健康づくりできます店として登録。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.栄養成分表示 2.ヘルシーメニュー(塩分控えめ(減塩美食)表示や野菜たっぷりの表示など) 3.ヘルシーオーダー(ご飯の量の調整ができるなど) 4.地産地消 5.禁煙・分煙の推進 6.バリアフリー 7.高齢者にやさしい店(メニューが大きい字で書いてあるなど) 8.子ども同伴でも安心の店 9.若者の心や体の健康づくり支援 10.健康づくりの情報 	<p>できます店登録数 111店 (平成24年2月末)</p>	継続実施

Ⅲ 市民運動としての食育の推進

1) 市民協働によるくまもと食育市民運動の展開

【成果指標】

数値目標	H19	H20	H22	H24(目標)
(15) 食育に関心がある市民の割合	76.0%	77.7%	75.6%	90%
(16) 食生活面で「くまもとらしさ」を感じたことのある割合	58.0%	55.2%	51.7%	65%

【取り組むべき施策】

- ①食育推進に関する機運の醸成
- ②関係団体と連携した食育運動の展開

【具体的な取り組み(行政)】



	関係部署名	業務内容	評価		評価指標等					進捗状況等			平成24年度以降の関係部署名	
			評価指数	単位	H19度実績	H20度実績	H21度実績	H22実績	H24度目標	H23実績	判定◎○△×	H23度業務内容等		今後の課題
健康くまもと21推進事業(食ネット部会)	健康福祉政策課	食の学習や農業体験を通じて食への知識や理解を深め、食の情報提供することで食の大切さを市民や社会に働きかける。	開催回数	回	継続実施	2回	2回	2回	継続実施	2回	○			健康づくり推進課
8020推進員活動支援事業	健康福祉政策課・保健福祉センター	8020推進員による地域ボランティア活動を支援する。	地域活動件数	件	63件	129件	265件	286件	300件	308件	◎	中央:78件 北:56件 東68件 西:52件 南:54件		健康づくり推進課 各区役所保健子ども課
思春期の食育推進事業	健康福祉政策課	熊本市食生活改善推進員協議会と協働で、中・高校生を対象に思春期における健康課題改善へ向けた実習・講演会を実施	思春期のヘルプサポーター養成数	校	3校	2校	2校	3校	4校	1校	○			健康づくり推進課
食生活改善推進員全体研修会	健康福祉政策課・保健福祉センター・植木総合支所保健福祉課	講話やグループワーク等で食生活改善のボランティア活動時に活用する知識を習得。	延べ参加者数	人	-	329人	310人	318人	継続実施	305人	○	第1回 平成23年6月30日 講話「食中毒予防について～最近のトピックスを通して～」他 第2回 平成23年11月17日 講演「やってみよう!減塩食のすすめ」他		健康づくり推進課 各区役所保健子ども課
食生活改善推進員各所研修会<平成20年度新規>	保健福祉センター・植木総合支所保健福祉課	食生活改善推進員を対象として、新人研修、スキルアップ研修、すこやか食生活講習会のための調理実習等ボランティア活動に関するより具体的技術と知識を習得するための研修会の開催	延べ参加者数	人	-	1,644人	2,476人 (役員会等を含む)	2,841人	8,044人	3,042人	○	中央:研修会10回 352人 役員会 22回360人 東:研修会13回 334人 役員会13回 130人 西:研修会12回 247人 役員会12回 220人 北:研修会15回 420人 役員会25回 452人※植木含む 南:研修会8回 283人 役員会12回 244人		各区役所保健子ども課

取り組み名称	関係部署名	業務内容	評価		評価指標等					進捗状況等				平成24年度以降の 関係部署名
			評価 指数	単位	H19度 実績	H20度 実績	H21度 実績	H22 実績	H24度 目標	H23 実績	判定 ◎○ △×	H23度業務内容等	課題や H24の取り組み	
食生活改善推進員地区 組織活動の支援	健康福祉政策 課・保健福祉セ ンター・植木総合 支所保健福祉課	役員会、リーダー会の開催並びに 地域で行う食生活改善活動(食文 化伝承活動含む)についての助言 指導を行う。	支援数	地域 講習 会受 講者 数	28,995人	27,599人	32,914人	33,976人	39,000人	55,013人	◎	中央:6,490人 東:6,336人 西:8,105人 北:23,737人 ※植木含む 南:10,348人		
熊本市民健康フェスティ バル	健康福祉政策課	健康づくりを目的とするイベントに おいて、食生活改善推進コーナー を設け、食育に関する情報提供や 啓発活動を行う。	健康フェ スティバ ル来場 者数	来場 者数 (人)	15,000人	17,724人	14,172人	17,428人	20,000人	17,404人	○			
くまもと食農応援団活動 への支援	生産流通課	収穫体験ツアー等の「くまもと食農 塾」への参加をとおして更なる農 業理解を図る。	活動支 援	活動 支 援	継続実施	継続実施	継続実施	収穫体験 ツアー等 の「くま もと食農 塾」及び 「食と農 を考える シンポジ ウム」へ の参加	区役所が 実施する 食農体験 事業と食 農応援団 が開催す る事業と の連携を 図る	食農応援 団独自事 業への参 加支援	○	「食農応援団」独自の事業の展開を実施 応援団員84人に参加募集依頼 ・梨狩り(河内町大田尾) 10月9日(日) ・討論会「熊本農業どげんしよう?」の開催 (市役所14階ホール) 11月13日(日) ・宮田健蔵さんの「食と農の体験塾」ツアーの 開催..(宇城市三角町)11月26日(土)	各区役所及び食農 応援団の事業計画 の情報共有を図りな がら、協働活動をス ムーズに進める。	農業政策課 各区役所 農業振興 課
食育に関する消費者セミ ナーの実施	消費者センター	市民対象にした食育に関する啓 発を行う。 夏休み親子食育セミナー	セミナー 参加者 数	参加 者数	30人	H20.8.27 中央公 民館 「安心な 食品の選 び方」と調理実習 0人 参加 者が少な かったた め中止	H21.7.18 田崎市場 44人	H22.7.24 田崎市場 23人	継続実施	H23.7.23 田崎市場 37人	○	毎年夏休みに1回開催。 小学校高学年と保護者を対象に開催。「食品の 流通などについて」の体験型講座。	料理教室も同時開 催したいが、時間帯 が早いと、今のと ころ不可能。	商工振興課 (消費者セン ター)
くまもと市民の食と農を 考えるシンポジウム・くま もと食農塾開催	生産流通課	収穫体験ツアー等の「くまもと食農 塾」及び「食と農を考えるシンポジ ウム」の開催	参加者 数	参加 者数	350人	参加者数 400人	376人	シンポジ ウム参加 292人 バスツア ー参加者 128名 農業体験 参加者 86名	現方式で の事業は 終了。	—	—	—	—	—

取り組み名称	関係部署名	業務内容	評価		評価指標等					進捗状況等			平成24年度以降の 関係部署名		
			評価 指数	単位	H19度 実績	H20度 実績	H21度 実績	H22 実績	H24度 目標	H23 実績	判定 ◎○ △×	H23度業務内容等		課題とH24の取り組 み	
農産物フェア(秋のふれあい収穫祭等)開催事業への支援	生産流通課 (地産地消推進室)	農畜産物の展示即売及び生産者と消費者の触れ合いの場を創出。 (熊本市の農畜産物紹介、旬の野菜・果物の試食及び料理紹介、花を用いた装飾及び品種の紹介、野菜・果実・水産物・花束・鉢物等の販売)	なし	—	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	主催団体を再検討し継続実施	◎	実行委員会メンバーに加え、新たにJA鹿本・JAうき・各地域の生産者19団体の参加を得た。 ・市産農産物のPR・消費拡大を図るため、新市街アーケード内において市内3JAや2花き市場及び地域の生産者みずから販売することで、消費者に安全・安心な農水畜産物をアピールするとともに、試食・販売をとおして消費者とふれあいの場の創出を図った。 ・また、中心市街地域活性化を図るため地元商店街と連携してスタンプラリーを開催し商店街共通買い物券を発行した。 ・期日 11月18日(金)～19日(土)10～16時 ・場所 新市街アーケード内	事業展開については今後とも、農業政策課で実施するか、各区役所の農業の特性を活かした取り組みを図る。	農業政策課 各区役所 農業振興課	
くまもと市民食育フェスタ<平成20年度新規>	健康福祉政策課	食育に関する市民啓発を行い、市民運動として食育を推進する。	開催回数	回	0回/年	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	○	平成23年6月3日(金)、4日(土)の2日間実施。 びふれす広場、下通アーケード	会場を江津湖(動植物園)に移し、名称を、わくわく江津湖フェスタ「食と健康フェア2012」に改め実施 H24、6/2,3	健康づくり推進課	
生活習慣病予防モデル事業	健康福祉政策課、保健福祉センター	保健福祉センター毎にモデル校区を指定し、食生活改善を始めとした健康課題解決に取り組む。	—	—	継続実施					継続実施	継続実施	◎	中央;モデル校区 城東 健康チェック21人 結果説明会20人 東;モデル校区 月出 健康チェック 44人 結果説明会27人 西;モデル校区 花園 健康チェック 38人 健康づくり部会 減塩学習会18人 南;モデル校区 川口 健康チェック 15人 結果説明会 9人 親子料理教室 2回 64人 川口小元気フェスタで食に関するコーナーを担当 北;モデル校区 高平台 健康チェック 22名 結果説明会 11名 チビッコin高平台での健康チェックコーナー44名	校区単位の健康づくり事業へ拡大	健康づくり推進課 各区役所保健子ども課

【具体的な取り組み(関係団体)】

名称	関係団体	H23度取り組み内容	H23度実績	今後の予定
健康づくりできます店スタンプラリー		健康づくりできます店の各店を回るスタンプラリーを開催。実施方法については、健康づくりできます店にスタンプラリーカード(応募用紙)を設置し、3個スタンプを集めた方が、住所・氏名・連絡先を記入して応募する(景品あり)。	実施期間:平成24年2月1日～3月15日 応募締切:平成24年3月19日 実績:応募総数990通	
若者のための食育・料理講座	健康くまもと21市民会議	これからの子どもを産み育てる若い世代に自分たちの食生活の見直し、将来に備えてもらおうと企画。食事バランスガイド等の講演、調理実習を行う。 【内容】講話・魚のさばき方実演・調理実習・試食・まとめ 【応募方法】市内大学、専門学校及び高校に在学する学生を対象に公募 【受講費】1人500円 【協賛】JF熊本漁連・熊本ヤクルト株式会社	平成23年6月4日(土) 【場所】熊本市青年会館 参加者:12人	
熊本市民健康フェスティバル等各種イベントへの参加	熊本市食生活改善推進員協議会	熊本市が行う各種イベントへ参加し、市民啓発を行う。	くまもと市民食育フェスタ2011、熊本市民健康フェスティバル、ねんりんピック、ふれあい収穫祭、田崎市場感謝祭等参加	継続実施
すこやか食生活改善講習会		熊本市委託事業。生活習慣病予防を目的とした献立の普及伝達を行う調理実習(または試食)。あわせて、食事バランスガイドの普及を行う。	市内92校区で1回ずつ実施 参加者:2,126人	継続実施
歯たちの健診		熊本市と共催。毎年、学園祭の時に実施。 内容:歯科健診が主だが、食育に関する指導も行っている。	熊本学園大学 10月30日(日)健診:64名	
歯の祭典(ウエルパルクまもと)	熊本市歯科医師会	12のコーナーを設けている。 歯科相談コーナー:歯に良い食べ物、悪い食べ物等の説明、それが全身の健康にも良いということの説明 歯科衛生士コーナー:寝たきり者に対する口腔ケア、嚥下が困難な方向けの訓練法方法等、食育に関する取り組みを実施 歯と食育コーナー:パネル等を使用し、食育に関する説明	平成23年6月5日(日) ウエルパルクまもとで開催。 来場者:12のコーナー延1,573名	
熊本市子ども文化会館での無料歯科相談		平成23年度「歯っぴーキッズ」を熊本市と共催、8020推進員の協力を得て実施。 無料歯科検診・歯科相談を実施した。催事では、フッ素塗布の体験、かむ力の測定、たけのこ会による人形劇等が実施された。	平成23年5月15日(日) 子ども文化会館 来場者:325名	
熊本市民健康フェスティバル		歯科相談、歯科健診、口臭測定、ブラッシング指導、フッ素洗口等 歯に良い食べ物、悪い食べ物等についての説明	平成23年10月15日(土) 健診者数:218名 平成23年10月16日(日) 健診者数:218名	
健軍医商連携事業「健康フェア」	熊本県栄養士会 熊本市地域事業部	健軍農村地域間交流フェスティバル&健康フェア ・栄養相談	平成23年11月19、20日 ①フェスティバル参加 ②相談件数:36件	

名称	関係団体	H23度取り組み内容	H23度実績	今後の予定
市民啓発事業(協働)	熊本県栄養士会 熊本市地域事業部	はあもにいフェスタ2011 (社)熊本3B体操協会熊本県支部中部グループと協働 ①栄養と運動(講話) ②体操実践 ③料理のディスプレイ④肥満とやせ・骨粗そう症・便秘に予防レシピの配布、等	11月13日参加者 60名	
熊本市民健康フェスティバル		栄養・食事相談と指導、在宅介護と食事について	平成23年10月15、16日 相談件数:213件	
ねんりんピック		栄養・食事相談と指導、在宅介護と食事について	平成23年10月15、16日 相談件数:14件	
熊本市子どもの食育推進ネットワーク事業		地域で取れた食材を使った楽しい食事作り ①くまもとうまか隊親子料理教室 ②北保健福祉センター活動参加 ③南保健福祉センター活動参加 ④西保健福祉センター活動参加	①11月16日:参加者24名 1月28日:参加者51名	継続実施
歯の祭典	熊本県歯科衛生士会	講演 演題「なぜ、お口の健康体操は大切なのか」口腔保健機能向上と食育 お口の健康体操実践 歯科衛生士会コーナー 位相差顕微鏡・唾液緩衝テストの体験(口腔内細菌の様子、唾液の役目を知る)、歯みがき指導 口腔介護コーナー(口腔ケア・口腔機能向上の実践・相談)	講演 平成23年6月5日 ウエルバルくまもと来場者約70人 歯科衛生士会コーナー、口腔介護コーナー ウエルバルくまもと来場者約250人	
健康フェスティバル		歯科衛生士会コーナー 位相差顕微鏡・唾液緩衝テストの体験(口腔内細菌の様子、唾液の役目を知る) 歯みがき指導 介護コーナー(口腔ケア・口腔機能向上の実践・相談)	平成23年10月15日・16日 県民交流館パレア861人	
熊本市子どもの食育推進ネットワーク(グループ名:おにぎり食べ隊)	熊本市民生委員児童委員協議会	協議会として、熊本市子どもの食育推進ネットワークに登録、参加し、代表者・実務者会議、年2回の研修会などに積極的に参加を行っている。会長会議で子どもの食育について研修している。	各単位民児協によって具体的な活動は異なるが、食育の重要性も踏まえて活動している。	—

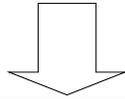
Ⅲ 市民運動としての食育の推進

2) 食育支援団体のネットワークの整備

【取り組むべき施策】

①関係機関・団体とのネットワーク体制の整備・情報の一元化

【具体的な取り組み(行政)】



取り組み名称	関係部署名	業務内容	評価		評価指標等					進捗状況等			平成24年度以降の 関係部署名	
			評価 指数	単位	H19度 実績	H20度 実績	H21度 実績	H22 実績	H24度 目標	H23 実績	判定 ◎○ △×	H23年度業務内容等		課題や H24の取り組み
食の安全安心・食育推進会議 ＜平成20年度新規＞	食品保健課・健康福祉政策課、関係各課	熊本市食の安全安心・食育推進計画の進行状況の検証・評価を行う	開催回数	回	0回/年	2回/年	2回/年	3回/年	2回/年	2回/年	◎	平成22年度事業実績(計画進捗状況)、計画中間見直し結果の報告及び計画の更なる推進に向けて、協議・検討を行った。	平成23年度事業実績(計画進捗状況)等の報告、及び第2次計画策定についての協議・検討を行う。	健康づくり推進課 食品保健課 関係各課
熊本市子どもの食育推進ネットワーク	子育て支援課・保健福祉センター	食育に携わる関係団体(保育所・幼稚園・地域保健福祉課ボランティア等)からなるネットワークで、地域における食育活動を展開する。	ネットワーク加入団体(者)数	団体(者)数	158団体	220団体(人)	253団体(人)	280団体(人)	290団体	286団体	○	食育に携わる関係団体からなるネットワークは、代表者会議、実務者会議を開催し情報の共有化や連携の推進を図り、子どもの食育活動を展開した。	「楽しく食べる子ども」を目標に、「しっかり食べよう朝ごはん」を活動テーマとして、子どもの食育推進を継続して取り組む。	健康づくり推進課 各区役所 保健子ども課
熊本市子どもの食育推進ネットワーク 全体研修会	子育て支援課	食育の推進を目的としたネットワークメンバーの情報交換と資質向上のための研修会を開催。(年2回)	研修会参加者数	人	290人	340人	409人	403人	350人	375人	◎	第1回研修会は講師を招へいして講演会を開催、第2回研修会は先駆的な活動を行っている園・団体の活動報告を行った。	研修会について、実務者会議で十分検討を行い実施するとともに、研修会の案内時に、未加入団体への加入促進を行う。	
熊本市子どもの食育推進ネットワーク地域研修会	子育て支援課・保健福祉センター	地域の食育担当者が連携を強化し食育推進活動を活性化させるため、地域のより身近な所で食育を展開するための情報交換と資質向上を支援	研修会参加者数	人	170人	(延べ)409人	(延べ合計)358人	(延べ合計)355人	350人	(延べ合計)389人	◎	各保健福祉センターごとに、地域研修会を開催した。具体的な活動内容は、調理実習、エプロンシアター、講和・グループワーク、親子の料理教室、各施設の食育計画に関する情報交換など様々な取り組みが実施された。	各区役所において、それぞれ特色ある地域研修会の実施を行い、地域における食育推進を図る。	
食に関するホームページへの情報掲載 ＜平成20年度新規＞	食品保健課・健康福祉政策課	食に関する役立つ情報を提供	アクセス数	回	0	延べ20,450(H20.11～H21.3)	延べ69,062(H21.4～H22.3)	延べ82,006人(H22.4～23.3)	新規増加	延べ91,987人(H23.4～24.3)	○	「くまもと食のレシピ」をヘルシーレシピ、ひご野菜レシピ、郷土料理、離乳食と4つに分け、整理した。活動事例として保育園から11回の情報提供をいただき掲載した。	市民・事業者に役立つ情報を適時掲載・更新を行うことに努める(食保 入力)	食品保健課 健康づくり推進課

取り組み名称	関係部署名	業務内容	評価		評価指標等					進捗状況等				平成24年度以降の 関係部署名
			評価 指数	単位	H19度 実績	H20度 実績	H21度 実績	H22 実績	H24度 目標	H23 実績	判定 ◎○ △×	H23度業務内容等	課題や H24の取り組み	
食育に関する全市的広 報	健康福祉政策課	市政だより、ラジオ等を使った市 民への啓発	実施回 数	回	(H20) 6回	11回	6回	7回	拡充	7回	○	市政だより、ラジオ等を使い市民 へ啓発した。		健康づくり推進課

【具体的な取り組み(関係団体)】

名称	H23度取り組み内容		H23度実績	今後の予定
CKD対策	熊本県栄養士会	講演:CKDの病態と治療 勉強会と市民対象への啓発活動	4月24日 参加者:43名	

IV くまもの自然環境と食文化に根ざした食育の推進

1) 生産者と消費者の交流

【成果指標】

	H19	H20	H22	H24(目標)
(17) 生産者と消費者が近く交流しやすいと感じている市民の割合	24.5%	29.3%	29.6%	30%
(18) 学校農園や休耕田等を活用した栽培活動を実施している小・中学校の割合	小学校			
	80校中78校 98%	81/81 100%	100%	100%
	中学校 37校中20校 54%	37/38 97.4%	97.4%	100%

【取り組むべき施策】

- ①生産者と消費者の交流会の開催
- ②農林漁業体験等を通じた食育活動の推進

【具体的な取り組み(行政)】

取り組み名称	関係部署名	業務内容	評価		評価指標等					進捗状況等		平成24年度以降の 関係部署名		
			評価 指数	単位	H19度 実績	H20度 実績	H21度 実績	H22 実績	H24度 目標	H23 実績	判定 ◎ ○ △		H23年度業務内容等	課題や H24の取り組み
生産者との給食交流会	健康教育課	給食物資の生産者と児童・生徒の交流と食を実施。交流給食を通して生産者とふれあい食育の推進を図る。	なし	-	継続実施	継続実施	継続実施	実施	継続実施	実施	◎	市産大豆による手作りみそを使用した給食を通して、みそ生産者と小学生の交流給食会を実施	継続実施	健康教育課
農業体験学習の開催	生産流通課	農業体験をしてみたい小学校やグループの相談に乗り、受入れ農家や関係機関との連絡調整や企画・運営を支援。	農業体験参加者数	農業体験参加者数	1,000人	参加者数 875人	1,062人	農業体験 49人	見直し	見直し		本事業の対象者となる各小中学校、幼稚園、保育園等においては教育の一環として農業体験が展開されているため、本室においては、一般市民を対象にした農業体験を実施する。一般市民の農業理解と消費拡大を図る観点から、収穫・調理体験型の食農塾への事業転換を図っている。	一般市民の農業理解と消費拡大を推進する観点から収穫・調理体験の事業展開を行う。	-
すこやか交流広場管理運営事業	地域保健福祉課	子ども農園の貸付と、多目的広場の管理、運営。植え付け祭、収穫祭等、イベントを開催し世代間交流を促進。樹木の管理、農園の自主管理を推進する。	農園利用率	%	(H20) 100%	74%	84%	92%	100%	82%	△	ボランティアによる農業指導環境整備のため、除草を年度内に3回	未使用区画について、引続き広報周知を行なっていく。	
学校農園等での栽培活動	指導課	学校農園や休耕田、プランター等を活用し、子どもたちが栽培・収穫等を体験する。	実施校数 ★成果指標	%	小学校 78/80 98%	81/81 100%	81/81 100%	100%	100%	100%	◎	全校に需用費を配当し、各学校の実態に応じて農業体験や栽培活動、緑化活動等が推進できるようにした。また、校外農地を使っでの体験に取り組む学校に対して、農地借用の謝礼金、及び指導者に対する指導料を支払った。	時数確保の点から考えると、授業中に取り組むことは難しいが、授業前の活動や児童会・生徒会での取組など、各学校で体験の場の確保に努めている。また、校外農地についても、借用、管理の面から学校の負担も大きいと考える。今後も、校内農地(花壇等)の積極的活用、農業体験の推進など、各学校の実情に応じた取組がなされるように、啓発に努めていきたい。	指導課

取り組み名称	関係部署名	業務内容	評価		評価指標等					進捗状況等			平成24年度以降の 関係部署名		
			評価 指数	単位	H19度 実績	H20度 実績	H21度 実績	H22 実績	H24度 目標	H23 実績	判定 ◎ ○	H23度業務内容等		今後の課題	
市民と水産業との交流 促進	水産振興センター	市民と漁業者との交流を通じて、 本市 水産業の紹介、漁業体験活動など を 推進する	-	-	-	小学生 等参加 者数 68名	小学生等 参加者数 51名	小学生等 参加者数 90名	-	-	小学生等 参加者数 88名	◎	・小学生の干潟体験学習及び出前教室の 実施 ・各漁協等が行う体験学習会への協力及び 支援 ・水産物フェアの開催	・受入れ団体の 確保 ・参加者の安全 確保	水産振興センター
市民農園 (平成24年度からファミ リ農園)	生産流通課 (地産地消推進室)	昭和58年の開設以来、平成23年4 月現在13農園(881区画)が開園し ている。今後は農園開園者自らが 管理運営する農園への移行を完 了し、市としては、開園支援を実施 していく。	農園利 用者数	人	1,242人	-	1,274人	集計中	1,900人 (13農園)	1,828人 (13農園)	◎	・ファミリー農園の農作業体験を通して食と農の理 解促進を促した。 ・市主体ではなく、農園主主体の農園利用方式の 農園であることを相互確認し、これまでの「市民農 園」のうち制度理解を得た11農園を「熊本ファミ リ農園」として継続し、新たに2農園を追加指定し た。	今後は、各ファミリー農 園の開園者が自ら農園 の管理運営を行い、農 園を管轄する区役所が 開園・運営及び広報支 援を行う。	各区役所 農業振興課	

【具体的な取り組み(関係団体)】

名称	関係団体	H23度取り組み内容	H23度実績	今後の予定
「食と農・くらしと環境ワーキンググループ」に おける活動	エコパートナーくまもと (環境/パートナーシップくまもと市 民会議)	段ボールコンポスト地産地消の基材 環境フェア2011への出展 他	10月13日/10月28日 100人 10月22.23日・動植物園	
あぐりキッズスクール	JA熊本市	・農作業を通して、農業や食の大切さを学ぶため、市内17の小学校から63人の児童があぐ りキッズに入校し8回の講座を受講した。	5/21 カライモの定植 6/25田植え・ナス収穫 7/17 箸づくり 9/17 みそ作り 10/15 調理実習 11/26・27 自ら栽培した野菜の販売体験 12/17 みかん狩り 2/18 バターづくり	継続実施

IV くまもとの自然環境と食文化に根ざした食育の推進

2) 地産地消の促進

【成果指標】

	H19	H20	H22	H24(目標)
(19) 「地産地消」を認知している市民の割合	57.9%	63.4%	68.2%	65%
(20) 学校給食における地元産物を使用する割合	28品目	35品目	39品目	43品目

【取り組むべき施策】

- ①「くまもとらしさ」を生かした地産地消の推進
- ②学校給食や飲食店等への地元産物のPRと活用促進

【具体的な取り組み(行政)】



取り組み名称	関係部署名	業務内容	評価		評価指標等					進捗状況等			平成24年度以降の 関係部署名	
			評価 指数	単位	H19度 実績	H20度 実績	H21度 実績	H22 実績	H24度 目標	H23 実績	判定 ◎○ △×	H23年度業務内容等		課題や H24の取り組み
「ひご野菜」の認知度向上及び普及拡大	生産流通課	熊本に因むストーリーが展開できる野菜等を掘り起こし、観光と連携した地産地消の展開を図る。	指定品目	指定品目	15品目	15品目	15品目	15品目	各種イベントにより、認知度向上や消費拡大事業を実施	同左	○	・民間団体「くらし・マイレージアランス」が主催する九州伝統野菜フォーラムの開催を九州農政局と共に共催し、ひご野菜を含む伝統野菜の認知度の向上を計った。 ・農産物フェアでは、ひご野菜の生産者自ら認知度向上及び消費拡大のため販売を行った。(赤なす・レンコン・水前寺菜・黒皮カボチャ・春日ぼうぶら・セリ等) ・市主催の各イベントにおいて知名度向上のためパネル展示を行った。	・「ひご野菜」普及については、行政主導から、民間レベルの活動に広がりを見せいているため、民間が行う取組みを支援していくと共に、引続き各種イベントでのPRやレシピ集の作成及びくまもと農商工サイトを活用した認知度の向上を図る。	農業政策課 流通消費対策室
本市水産物のブランド化の推進	水産振興センター	ハマグリブランド化を異業種と連携し、PRを図る	ハマグリ の 認知度	%	24%	24%	35%	集計中	(H25) 50%	—		産業政策課(農商工連携推進室)へ業務移管	—	—
保育所給食における地産地消の推進	保育幼稚園課	食材は可能な限り、熊本市産、県内産、九州産、国内産を使用している。	—	—	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	◎	食材は可能な限り、熊本市産、県内産、九州産、国内産を使用	継続実施	
学校栄養職員等の生産地視察	健康教育課	給食関係者が学校給食使用農産物の生産地を視察し食育に活用する。	—	—	継続実施	継続実施	16箇所 の 視察	継続実施	継続実施	継続実施	◎	食育の日(ひごまるデー)の献立に使用する農産物を中心に産地を視察し児童生徒の食育資料としてまとめ、各学校へ配付	継続実施	健康教育課

取り組み名称	関係部署名	業務内容	評価		評価指標等					進捗状況等			平成24年度以降の 関係部署名	
			評価 指数	単位	H19度 実績	H20度 実績	H21度 実績	H22 実績	H24度 目標	H23 実績	判定 ◎○ △×	H23度業務内容等		課題とH24の取り組み
「農とびあ」地域の活動支援	農業政策課	一定の地域を「農とびあ」として指定し、その地域における農業者等の主体的活動を支援し、地産地消の拠点づくりを推進する。	「農とびあ」指定地域数	地域	3地域	4地域	4地域	5地域	6地域	6地域	◎	・「西里地域」「中島地域」「河内地域」「鮑田地域」「富合地域」「山本地域」の6地域を地産地消の拠点として指定。 ・各地域で農業体験交流等が実施された。	更なる取り組み地域数の増加を目指す。	農業政策課 各区役所 農業 振興課
学校給食における地元産物の利用	健康教育課	「食育の日」の取り組みとして市産品の献立によるメニューを実施し、児童・生徒に指導するための資料集を作成し、全校に配付している。	実施品 目数 ★成果 指標	品目	(H18) 28品目	H19年度 実績35品 目	35品目	41品目	43品目	39品目	○	・毎月19日を「ひごまるデー」とし、市産品の献立によるメニューを実施。	継続実施	
農産品直売所支援	生産流通課 (地産地消推進室)	市内直売所で組織する「熊本市農産物直売所連絡協議会」の活動を通じ、周年栽培への取り組みや合同販売会等の実施により、直売所間のネットワーク強化や販売促進を図る。	直売所 設置箇 所数	ヶ所	10	-	14	14	15	14箇所 合同販売会 等の開催	○	・直販所連絡協議会が、自立した販売会を開催できるように「ひごまる会」を設立した。 ・「ひごまる会」を中心として、年6回の合同販売会を実施するとともに、各種イベント3回(お城まつり・おおにぎわい市・食育フェスタ)開催に伴う販売会を実施した。	農産物直販所の周知を図るため、紹介パンフレットの作成を行なう。	農業政策課

【具体的な取り組み(関係団体)】

名称	関係団体	H23度取り組み内容	H23度実績	今後の予定
小・中学校及び福祉施設等へ 熊本市産ノリを提供	熊本市漁業後継者クラブ	市内の小・中学校や福祉施設等に熊本市産の焼きのりを提供し、本市産のりのPRを行っている。	24年2月2日、3日に実施	継続
ふれあい食農塾への強力	食生活改善推進員協議会 (地産地消室)	・ミニトマトを使った調理実習(2月) ・ピーマンを使った調理実習(3月)	平成24年2月 3月	依頼があれば強力

IV くまもとの自然環境と食文化に根ざした食育の推進

3) くまもとの食文化の伝承

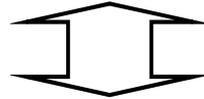
【成果指標】

	H19	H20	H22	H24(目標)
(21) 家庭での食事に郷土料理等を取り入れている市民の割合	63.9%	51.3%	54.9%	70%

【取り組むべき施策】

- ①伝統料理や郷土料理等に関する情報提供の促進
- ②新たな食文化の発端・開発
- ③関係団体との連携による食文化伝承に関わる活動の推進

【具体的な取り組み(行政)】



取り組み名称	関係部署名	業務内容	評価		評価指標等					進捗状況等			平成24年度以降の 関係部署名	
			評価 指数	単位	H19度 実績	H20度 実績	H21度 実績	H22 実績	H24度 目標	H23 実績	判定 ◎○ △×	H23度業務内容等		課題や H24の取り組み
郷土料理の実施とそれに伴う啓発活動	健康教育課	食文化の伝承及び啓発を目的に、学校給食献立への郷土料理導入を月1回実施	実施割合	%	小学校 100% 中学校 100%	100% 100%	100% 100%	100% 100%	100% 100%	100% 100%	◎	食育の日(ひごまるデー)の献立や各地の味を取り入れる「味の旅」献立として毎月郷土料理を実施した。	継続実施	健康教育課
保育園児と地域住民との交流会	保育幼稚園課	地域の住民との交流会にて、団子汁会や芋煮会を行う等、郷土食の継承に努めている。	実施割合	%	公立 95% 私立 61%	継続実施	83.0%	83.0%	100%	公立 56.5% 70%	○	公立13園が地域住民との交流会で、だんご汁会開催した	継続実施	保育幼稚園課
郷土料理等を掲載した給食レシピ集の発行	健康教育課	郷土料理も含めた学校給食のレシピ集を作成し、学校へ配布し、親子料理教室等での活用や家庭啓発を行う。	—	—	—	—	作成配布	作成のみ	作成配布	作成配布	◎	栄養教諭等の協力のもとレシピ集を作成し、全学校に配付	継続実施	健康教育課
郷土料理啓発活動	健康福祉政策課	熊本の郷土料理・祭事料理を食のホームページに掲載・発信する。	—	—	—	—	情報収集中	—	—	郷土料理のレシピ掲載20品	○	郷土料理の情報を収集し、食のホームページで郷土料理の説明及びレシピの掲載を行った	—	健康づくり推進課

IV くまもとの自然環境と食文化に根ざした食育の推進

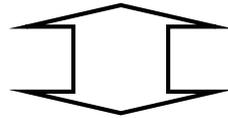
4) 食育を通じた環境保全

【取り組むべき施策】

	H19(直近値)	H20	H22	H24(目標)
(22) 市民1人1日あたりのごみ排出量	1215g(H18) *	1,113g	977g	956g
(23) ごみを少なくするため「買いすぎ」「作りすぎ」をしないよう心がけている市民の割合	67.00%	0.688	0.691	0.75
(24) バイオマスを知っている市民の割合	23.00%	0.215	0.262	0.3
(25) 熊本市の良質な水がおいしさの基になっていると思う市民の割合	65.70%	0.64	0.808	0.85

【取り組むべき施策】

- ① 食を通じた環境保全に関する情報提供の促進
② 環境保全体験を通じた食育活動の推進



* 平成19年度実績 1,163g

【具体的な取り組み(行政)】

取り組み名称	関係部署名	業務内容	評価		評価指標等					進捗状況等			平成24年度以降の 関係部署名	
			評価 指数	単位	H19度 実績	H20度 実績	H21度 実績	H22 実績	H24度 目標	H23 実績	判定 ◎○ △×	H23度業務内容等		課題や H24の取り組み
環境にやさしい店の推進	環境企画課	ごみ減量サイクルの推進に積極的に取り組む小売店を「環境にやさしい店」として認定し広報していく。	認定店舗数	店舗	145店舗	146店舗	145店舗	148	190店舗	149	○	「環境にやさしい店」認定とグリーンコンシューマー育成の拡大	環境政策課 (温暖化対策室)	
水質監視	水保全課	地下水等に関する水質監視	監視率	%	97%	100%	100%	100%	100%	100%	◎	水質汚濁防止法に基づく地下水の水質の常時監視	より効果的な監視井戸の選定が必要	水保全課
広域水保全対策	水保全課	農業体験や交流ツアー、森林ボランティア活動などを通じて地下水かん養域と地域との交流や連携を深めることで熊本地域の地下水の長期的な保全を保つ。	参加人数	人	382人	348人	644人	393人	450人	364	○	・小学5年生を対象に、白川中流域水田を活用した田植え(6月)稲刈り(10月)を開催した。 ・森林ボランティア育成のため講座を4回開催した。	継続実施	水保全課
小学校への副読本配布	廃棄物指導課	小学4年生が社会科で初めてごみ問題を学習する際の副読本として、本市のごみ事情をやさしく解説した「ごみとリサイクル」を作成し、市内の小学校に配布している。	配布数	人	6,637人	6,667人	6,669人	6,932人	8,500人	8,500人	○	小学4年生が社会科で初めてごみ問題を学習する際の副読本として、本市のごみ事情をやさしく解説した「ごみとリサイクル」を作成し、市内の小学校に配布した。	継続実施	ごみ減量推進課

取り組み名称	関係部署名	業務内容	評価		評価指標等					進捗状況等			平成24年度以降の 関係部署名	
			評価 指数	単位	H19度 実績	H20度 実績	H21度 実績	H22 実績	H24度 目標	H23 実績	判定 ◎○ △×	H23度業務内容等		課題とH24の取り組 み
堆肥化容器、電気式生 ごみ処理機助成事業	廃棄物指導課	家庭でのごみの減量及びリサイ クルに資する、堆肥化容器、電気 式生ごみ処理機の購入に対する 助成を行う。	堆肥化 容器助 成金申 請件数	堆肥 化容 器助 成件 数(年 間) 電 気 式 生 ご み	417基 344基	693基 420基	817基 908基	244基 332基 H23.4.5	700基 1,000基	126基 163基 H24.4.18現在	○	家庭でのごみの減量及びリサイ クルを促進するため、堆肥化容器、電気式生ごみ処理機の 購入に対する助成を行った。	申請件数が伸びない ため、H24から助 成率と助成上限額 を引き上げた。	ごみ減量推進課
ごみ減量化・リサイクル 推進ポスターコンクール	廃棄物指導課	小中学生を対象に、ごみ減量・リ サイクルの推進を題材にしたポス ターコンクールを行い、その優秀 作品を表彰している。	応募作 品数	点	1,153	1,122	1,130	1,016	ポスター 1,200 標語1,200	1,010 134	○	市内の小中学生を対象に、ごみ減量・リサイ クル推進の必要性についての関心を高めてもら うことを目的として、ごみの減量やリサイクルに 関するものを題材としたポスター・標語コンク ールを実施し、環境フェアで表彰を行った。	標語については、 選者の難しさ、応募 数の少なさからH24 は実施しない。	ごみ減量推進課
家庭用生ごみ処理機の 小学校設置 <平成21年度新規>	廃棄物指導課	小学校に家庭用生ごみ処理機を 設置し、ごみ減量・リサイクル推 進の体験学習を行う。	設置校 数	校	—	—	54	75	93	なし	◎	H22で設置完了した。		ごみ減量推進課
生ごみ分別収集モデル 調査事業 <平成21年度新規>	廃棄物計画課	モデル地区(2地区)の協力によ り生ごみを分別収集し、堆肥化を 行う。	—	—	—	—	738戸	750戸	—	—	◎	H22でモデル事業終了した。		廃棄物計画課
環境保全に関する市民 啓発	環境総合研究所	環境保全に関する学習会を開催 し、市民啓発を行う。	—	—	—	3641人	5,610人	4,907人	—	5897人	○	幅広い世代を対象に、環境に配慮した実践 活動の輪を拡大するため、環境をテーマとした 体験学習を行った。また、新規に一般市民の 要望に応える市民環境科学セミナーを開催し、 参加者の拡充を図った。	放射線や節電につ いての環境学習の 拡充やホームペ ージ等のメディアを 活用し情報提供を行 う。	環境総合センター
環境にやさしい農業の 推進	生産流通課	エコファーマ、有作くん等、環境に やさしい農家の戸数	戸数	戸	1,019戸	1,221戸	1,814戸	2,228戸	1,850戸	1823戸 03.06現在 (※H23から はエコファ ーマ、有作 くんに取り 組む農家の実 人数)	△	エコファーマ認定・更新の推進 有作くんの認証促進	エコファーマ更新の推進	農業政策課

【具体的な取り組み(関係団体)】

名称	関係団体	H23度取り組み内容	H23度実績	今後の予定
「食と農・くらしと環境ワーキンググル ープ」における活動	エコパートナーくまもと (環境パートナーシップくまもと市 民会議)	段ボールコンポスト地産地消の基材 環境フェア2011への出展 他	10月13日/10月28日 100人 10月22.23日・動植物園	

V 食育を通じた食の安全・安心の確保(共通)

1)食の安全性や栄養等に関する理解の促進
～安心して食生活を送るための食育～

【具体的な取り組み(関係団体)】

名称	関係団体	H23度取り組み内容	H23度実績	今後の予定
食の安全安心確保に関する研修会	熊本市農産物直販所連絡協議会	協議会の総会において、熊本県農政事務所に出席いただき、農産物への農薬の適正使用について説明を受け、会員の意識向上を図った。	平成23年5月27日 市役所駐輪場8階会議室 参加団体10団体	